

アグリ | ワーク | ポイント



果樹林産センター | 鈴木大造

改植

注文していた苗木の植え付け時期となります。特に注意するのは、根を乾かささないことです。植え付け後に植え傷みや枯れる原因の多くは、根の乾燥が原因だと思われまます。苗木が到着したらすぐに水を張ったバケツに根を浸け、植え付け時に根や枝の調整を行う時も他の苗木はバケツの中に浸けておきましょう。植え付け後は、周囲の土を土手状に盛り上げ、充分かん水を行うことで、根と土を密着させまます。

剪定

近年、園地内でも樹毎で着果のバラツキが増えているので、樹の状態に応じた剪定を行いましょう。剪定をすることで、作業性の向上や日照時間の確保、薬剤散布の効率化を図ります。

幼木は、不必要と思われる枝を間引き、収量増加に向けた樹冠拡大に努めまます。成木については、立ち枝や逆行枝、被さり枝の剪除や古くなった側枝を更新してください。

効率の良い剪定のためには、園地や樹毎に優先順位をつけ、先に表年が予想される樹を剪定することです。表年の樹は「早く・強く」、裏年の樹は「遅く・弱く」を基本にして、効率良く作業を進めまましょう。

春肥

春肥は、新芽の充実や幼果の肥大に影響を与えまます。3月中旬頃の施用ですが、早すぎると根の養分吸収率が低いため流れてしまいい、遅くなると新芽の充実や幼果の発育に養分が行き渡らず、樹勢の低下を招いてしまいまます。また、春草は除草し、施肥後の吸収効率を高めるために、中耕を行ってください。

- 3月中旬
- ・早生 柑配6号 80 kg
- ・青島 柑配4号 100 kg

病害虫防除

1月にカイガラムシ類やミカンハダニの防除をしていない場合は、マシン油乳剤を散布しまししょう。かいよう病の発生が心配な園は、3月の発芽前に防除し、越冬病斑が見られる場合には、剪定時に罹病部分を剪除して、園外に処分してください。また、ICボルドー66Dとマシン油乳剤は散布間隔を14日程あけてください。

- ・かいよう病
- ICボルドー66D 60倍
- ・ミカンハダニ、カイガラムシ類
- マシン油乳剤(97%) 60倍